



## 2 教育、文化 人と文化を育む「心豊かなまち」

### ■ 就学前教育体制の充実

#### 早期英語教育事業

68万円 / 子育て支援課

早期から英語体験をより身近なものにするために、楽しく遊びながら英語に触れ合えるよう外国人講師を派遣します。  
(きぬ保育園)



### ■ 安全・安心・快適な教育環境の整備

#### 日本スポーツ振興センター 共済掛金無償化事業

299万円 / 学校教育課

市立小学校及び中学校の日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の共済掛金の保護者負担金について、全額公費で負担します。

### ■ 学力向上の推進

#### 人型ロボット導入事業

66万円 / 学校教育課

プログラミング教育に人型ロボットを導入し、児童生徒の論理的思考力や問題解決能力の育成を図るとともに、情報モラルや防災などの教育コンテンツを活用した授業や活動を展開します。

### ■ 学力向上の推進

#### 英語検定料補助

266万円 / 指導課

実用英語技能検定（英検）の受験者（小学生及び中学生）に年1回補助します。  
・1～3級：検定料の全額  
・4、5級：検定料の半額

新規

ふる納

### ■ 充実した教育環境の整備

#### コミュニティ・スクール導入事業

310万円 / 生涯学習課

地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことを目指し、市立全小中学校にコミュニティ・スクールを導入します。



拡充

### ■ 安全・安心・快適な教育環境の整備

#### 小中学校給食費統一事業

111万円 / 学校教育課

旧下妻市域と旧千代川村域の学校間で差異が生じている市立小中学校それぞれの給食費について、引き下げにより統一します。



新規

### ■ 安全・安心・快適な教育環境の整備

#### 高道祖幼稚園 園舎解体・駐車場等整備事業

3,920万円 / 学校教育課

旧高道祖幼稚園の園舎を解体し、跡地を駐車場や通路として整備します。

新規

## 令和6年度の主な取り組みを6つの『まちづくりの目標』に沿って紹介します！

ふる納 『ふるさと下妻寄附金を活用して行う事業』を表しています。



## 1 子育て、医療、社会福祉 誰もが健やかに暮らせる「安心なまち」

### ■ 経済的支援の充実

#### 保育料軽減事業

2,248万円 / 子育て支援課

3歳未満の児童の保育料を減額し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ります。



※保育料上限額(下妻市では第8階層)での比較



### ■ 乳幼児期の支援の充実

#### 産後ケア事業

176万円 / 健康づくり課

産後支援が必要な母子に対し、1回の出産につき5日を限度に医療機関での宿泊・通所による保健指導や助産師の居宅訪問授乳指導を提供し、育児不安の軽減を図ります。



### ■ 保育サービスの推進

#### 民間児童福祉施設整備事業

1億4,552万円 / 子育て支援課

国の就学前教育・保育施設整備交付金を活用し、下妻保育園民営化に伴う新園舎の建設に対する補助を行います。

### ■ 放課後児童対策の推進

#### 放課後児童健全育成事業

1億870万円 / 生涯学習課

就労等により放課後の児童の保育が困難な保護者に代わり、市内19か所の学童クラブにおいて保育を実施します。



### ■ 乳幼児期の支援の充実

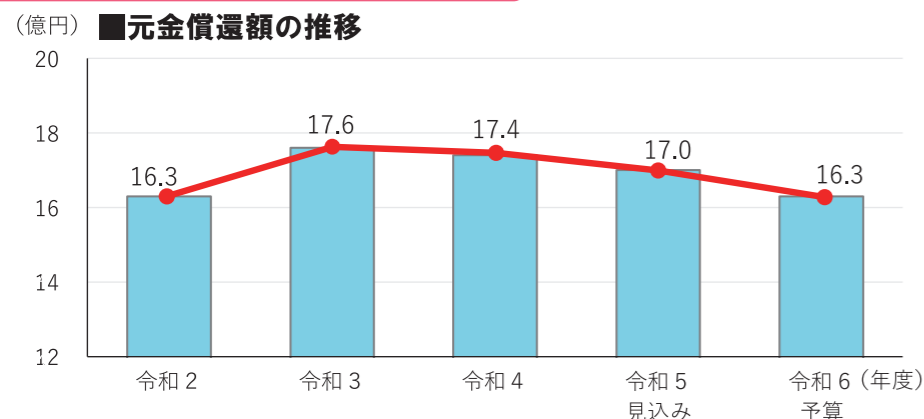
#### 多胎児・低出生体重児・ 早産児等発育発達相談事業

12万円 / 健康づくり課

多胎児や低出生体重児、早産児など産後の経過で体重増加不良や発育発達に不安を抱える保護者に対し、相談及び発育発達確認を行います。



### 公債費（借金返済）の状況



### ことばの解説

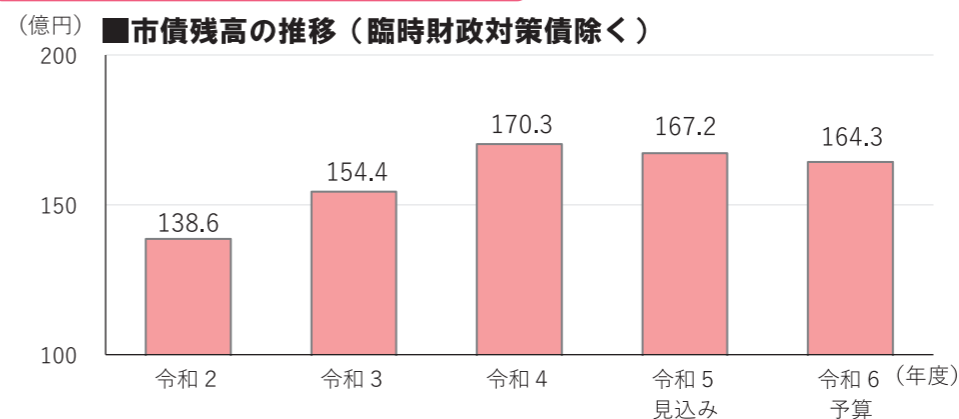
#### 元金

借入れを行った金額のことです。借入金の返済は「元金」と元金に所定の利率をかけた「利子」から構成されています。

市の借入先は、主に財務省などの公的資金や銀行等の金融機関です。



### 市債（市の借金）の状況



### ことばの解説

#### 市債

道路や学校などの公共施設整備の際に、その財源として市が借入れる借金です。

市債を発行する理由は大きく2つあり、1つ目は、公共施設整備に要する多額な経費の財政負担を平準化するため、2つ目は、これらの公共施設は長年使用するため、世代間の負担を公平にするためです。